

# 事業報告書

平成30年度

学校法人ラフ&ピース

## 目次

1. 法人の概要	2 ページ
①理念・目的・育成人材像	2 ページ
②入学定員、学生数の状況	3 ページ
③授業料	3 ページ
④役員・教職員の概要	3 ページ
2. 平成 30 年度事業の概要	4 ページ
①主な事業の目的・計画	4 ページ
②計画の進捗状況	4 ページ
3. 財務の概要	15 ページ

## 1. 法人の概要

### ①理念・目的・育成人材像

#### 人材育成 三つのポリシー

##### ・アドミッション・ポリシー

当校は、「エンタテインメント」を「仕事」として捉え、学歴や能力、ハンディキャップに関係なく、適性に応じて「居場所」を見つけることができる多様で裾野の広い「職業」であると考えことから、地元の子供たちに夢と「生きるための技能」と「働く場」を与え、それを沖縄全島に拡大し、さらには日本全国やアジア全域、全世界の若者や子どもたちが「好きなことを仕事にする」という夢を見つけ育む「場」に育てて参ります。そのため、単なる技術を学び、就職するというだけでなく、その技術や知識を使い、世界の人々を幸せにし、心を通わせることで様々な課題を解決しようとする学生を求めています。

##### ・カリキュラムポリシー

当校は、学生にエンタテインメントの基礎と応用を体得させ、エンタテインメントの表現や創作をより実現性をもった作品へと落とし込むための能力を身につけさせるための組織的な教育の実施を行います。

具体的には、エンタテインメントの総合的理解と作品を構築していくための基礎を形成する基礎科目、各エンタテインメントの流れを実践的に学ぶ実践科目、エンタテインメントを構築する方法及び新たな企画やコンセプトを実現可能にする方法の習得を行う展開科目（進級、卒業制作など）、企画やコンセプトを具体的に制作して他社に見せることのできる「エンタテインメント作品」に落とし込む実践的なトレーニングを行う演習（各種プロジェクト）を実施します。

##### ・ディプロマ・ポリシー

当校は、修業年限以上在学し、所定の単位数の修得や必要な演習を受けるとともに、下記の能力を身につけ、修了審査に合格した学生に対して修了を認定します。

1. 観る人の心を動かすことのできる発想力と表現力をともに備えたうえで、その企画やコンセプトを理想的な技術で描き出すことのできる能力を身につける。
2. いかなる環境や状況においても、開かれた視野を持ち、広く解決方法を発見し、その作品への意図やコンセプトを描くことに挑戦できる能力を身につける。
3. エンタテインメントがもたらす感動や興奮を論理的で実践的な制作・創作体験を通じて見出し、他者と協力しながら制作できる能力を身につける。

②入学定員、学生数の状況

課程名	学科名	コース名	修業 年限	昼夜 の別	入学 定員	総定員	学級数
文化・教養 専門課程	パフォーミングアーツ学科	パフォーマー コース	2年	昼間	40人	80名	2学級
		プロダクション コース					
	クリエイティブ学科	マンガコース	2年	昼間	40人	80名	2学級
		CG・アニメ コース					

③授業料

納付金の種類	金額 (円)
授業料	600,000
入学金	100,000
実験実習費	199,000
施設設備費	101,000
入学検定料	0
合計	1,000,000

※パフォーミングアーツ学科、クリエイティブ学科、共に同額とする

④役員・教職員の概要

・役員

理事	5名	(常勤2名 非常勤3名)
監事	2名	(非常勤2名)
評議員	14名	(常勤2名 非常勤12名)

・教職員

専任教員	5名	(常勤5名)
兼任教員	15名	(非常勤15名)
職員	4名	(常勤4名)

## 2. 平成 30 年度事業の概要

### ①主な事業の目的・計画

#### 養成目的

沖縄の地で、自然に囲まれながら、パフォーマー育成学科とクリエイター育成学科それぞれで、高い専門性を持った世界に通じるプロフェッショナルを育成できる段階式プログラムを実践して参ります。

意欲的な学生には、積極的にそれぞれの学科をまたいだ受講の機会を提供します。現場の感覚を体験するということが必須だと考え、超一流の講師陣を招くだけにとどまらず、実際に観客を募集し、プロによる指導のもと、公演を制作、実演する産学連携の実践カリキュラムや優秀な学生に日本のトップレベルの制作会社や撮影現場などでのインターンシップの機会を提供します。

真に世界で活躍できる、最先端の技術と応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会の第一線で長く活躍できる人材」の育成を目指します。

#### 取得目標技術

- (1)エンターテインメントの基礎知識の学習
- (2)エンターテインメント制作の基礎知識・技術の学習
- (3)表現を豊かにするための感情開放・技術の習得
- (4)エンターテインメントや芸術に対する固定観念の柔軟化
- (5)技術の学習方法の学習
- (6)企画・プレゼン能力の習得
- (7)制作能力の習得
- (8)パフォーマー・アーティスト・クリエイターとしての資質の習得
- (9)デビュー・就職先の絞り込み

### ②計画の進捗状況

#### 4月 主な行事

- |         |  |
|---------|--|
| 4/10～11 | 渡嘉敷島合宿   |
| 4/20    | 生徒パフォーマンス@波の上ステージ グレイテスト・ショウマンダンス披露                                  |
| 4/21    | 学内ワークショップ開催/CG制作体験アテレコ体験マンガ制作<br>ロシアアニメワークショップ、カクチさん学校新聞ワークショップ、子供食堂 |
| 4/22    | レッドカーペット   |
| 4/25    | 各コース専門授業、一般教養授業開始  |



学生とは、一人一人と面談をこまめにして、希望・悩み・特技、などを聞いて、一人一人のカルテを作り、彼らのいいところを伸ばしていくことを目標としました。

#### ◆入学からの動き

■入学ガイダンス 2018年3月31日(土) 参加人数28名

■落成式 入学式 2018年4月9日(月)

入学式には城間那覇市長をはじめ、各メディアからも参加があり、盛大に行うことができました。また、プロモーションとしてもTV、新聞、ネットで取材していただき、講師や学生もインタビューを受けました。

■渡嘉敷島オリエンテーション 2018年4月11日(水)～12日(木)

国立沖縄青少年交流の家(渡嘉敷島)

参加者 沖縄ラフ&ピース専門学校 1期生 31名

内容: つどい・親睦会・キャンプファイヤー・ハイキング・野外炊飯・海水浴

■第10回島ぜんぶでおーきな祭 ビーチステージ ラフピーグレイテストショー

ラフ&ピース専門学校の1期生が、公開初日にこの『グレイテスト・ショーマン』を鑑賞し、作品に大変感銘を受け、入学前に学校へ企画を持ち込み、20世紀FOX社、俳優班、ライブ制作との連携により実現しました。

■第10回島ぜんぶでおーきな祭 ワークショップ (各ワークショップ参加者合計 93名)

☆アニメ講義「ロシアアニメのいま」

☆「沖縄がアニメの舞台に! TVアニメ『はるかなレシーブ』プロデューサートークイベント」

☆「本場ブロードウェイのレジェンドが主催する『HBDA』監修ダンスレッスン」

☆「『あなただけのマンガのキャラを描いてみよう』イラスト&マンガレッスン」

☆「エンパティーステージインプロワークショップ」

■レッドカーペット参加

映画祭最終日に1期生と講師、ラフ&ピースツアー参加者、ワークショップ参加者などが一緒になり、レッドカーペットに参加しました。雨でやむなく帰る参加者もいましたが、ほぼ全員がレッドカーペットを歩くことができ、良い体験ができました。

■あそぶガッコ。 夢を育てるコラボ cafe

MC相席スタート、こどもディスカッションゲストのスベンドリニ・カクチさん、監督の仲程長治さん、文化誌「モモト」の元プロデューサー松島由布子さん、琉球新報の関戸塩さんにもご参加いただきました。

沖縄芸人が「将来の夢」についてなど、各テーマに沿ったネタを披露し、ゲスト芸人に向けてこどもインタビューの質問タイムで盛り上がりました。

パレットくもじのポケモンセンターからピカチュウも来場し、子供達に大人気でした。

以降、連日近隣の子供達や住民の方が遊びに来られるようになりました。今後は、新聞作り

に

つなげていきます。

## 5月

ゴールデンウィーク終了後から、本格的に授業がスタートしました。

### ◆授業時間・コマ数について

・授業は月～金で行い、1コマ/90分を3コマ～4コマ実施

一週間で、5コマ：一般教養、11コマ：各コースの専門授業、計16コマ程度のコマ数

### ◆各コースの主たる授業内容

マンガコース：線の書き方、原画模写、表情模写、東京とのオンライン授業など展開

CGアニメコース：モデリング、画像の3D化、3Dをモーショントピクチャ、CG基礎

パフォーマーコース：ダンス；バレエ ストレッチと体幹のトレーニング

ダンス；HIPHOP 体幹を創る直線的な動き

声優；座学と演技レッスン

プロダクションコース：イベント、音響、舞台、テレビ概論、映像機器、

沖縄花月、マネジメント

一般教養：沖縄の歴史、イラストレーター講座、プロジェクションマッピング、

進路指導、ガーデニング

### ◆学生による自主イベント ラブピーフェス開催

5月26日（土）15：00-17：00 近隣にも声をかけ開催

パフォーマーコース各メンバーによるパフォーマンスの披露。

マンガやアニメの作品展示やエイサー、空手の演舞等も実施し、イベント後は食事の提供も行いました。

## 6月

各学科各コースの授業が始まり約1カ月が経過しました。それぞれが個人の生活時間も含めて、学校が主たる居場所となりつつあるも、一般教養や専門外の授業を欠席する者も目立つようになってきました。5月25日までの講義で皆勤はわずか12名に留まっており、欠席や欠講した者についてはコース担任が面談をするように徹底しています。

### ◆各コースの主たる授業内容

マンガコース：オンライン授業を中心に表情模写や一・二点透視法（アイレベル）

CGアニメコース：モデリング、アニメーションの重い球の動き、フォトショップでの鉄と木の質感

パフォーマーコース：ダンス；バレエ ストレッチと体幹のトレーニング



ダンス ; HIPHOP 体幹を創る直線的な動き

声 優 ; 座学と演技レッスン

プロダクションコース : イベント・音響・舞台・テレビ概論・映像機器・沖縄花月・マネジメント

一 般 教 養 : 沖縄の歴史、イラストレーター講座、プロジェクションマッピング  
進路指導、ガーデニング

◆学生による自主イベント 第2回ラブピーフェス開催 6月30日

事前にチラシを手配りし、近隣住宅や自治会及び児童館などお声掛け、近隣小学校にもご協力いただき、ツアーとフェス双方のチラシを配布を行いました。

近隣地区の子供たちやその保護者を中心に70名近くの方々にご来場いただき、ダンス、歌、漫才、ラップなどを楽しんでいただきました。演技終了後は食事をしながら感想を話し合ったり、和やかな雰囲気でした。

7月

1年次前期（夏休みまでの期間）の後半に差し掛かったところで、各学科の全体計画（シラバス）に即した進度で授業が行われました。

若干スキル個人差や目標の変化が認められるものの、それぞれの学科の課題を消化し、新たな授業も多く取り入れました。目新しいところではクレヨンしんちゃんでおなじみの声優の矢島晶子さんによる声優コースの講義やメイクアップの講義など、実践的な分野で導入拡張しました。

その他では一般教養で首里城の再建を現地で学んだり、庭園「花水園」でのガーデニングの実習を行ったりと沖縄全体を今後も題材にしていきます。

コース担任による面談も重ねて実施しており、客観的プロフィールと主観的プロフィールの検証を実施していきます。

7/4 第68回「社会を明るくする運動」那覇保護区大会にアトラクション出演

7/8 「那覇の日」に琉球新報にて新社屋ホールでラブピーツアー

第27回 沖縄県専修学校各種学校総合体育大会 兼九州ブロック大会沖縄県予選  
バスケットボール（男子）、バドミントン（個人）、卓球（個人）にそれぞれ参加

◆各コースの主たる授業内容

パフォーマーコース

ダンス 7/末 ヒントン氏 モダン講師選定に向けた打合せ実施

7/3 HIPHOP 柿崎講師 HBDA 見学、レッスン参加

ヴォーカル 合唱レッスン ミュージカル RENT 「SEASONS OF LOVE」

		絢香&コブクロ「WINDING ROAD」 BEGIN 「三線の花」
		三線レッスンも開催
声優	7/3	声優講座 クレヨンしんちゃん役矢島晶子さんレギュラー講師として毎週開催
パフォーマンス	7/25	GABEZ (パントマイム パフォーマンス)
	7/27	KAMIYAMA (パントマイム)
	7/20	AFRA (ボイスパーカッション)
メイキャップ		本橋英子講師
プロダクションコース		
	7/4	舞台監督 中村信一氏監修の舞台セット設置と模擬公演
CGアニメコース		
	7/下旬	増田講師、ザフル佐藤氏により卒業、就職に向けた面談の実施
一般教養	7/12	カクチ講師 新聞作り、スリランカカレー作りレポート
	7/25	昭和アニメ概論 白戸武 (アニメーター、タイガーマスクなど)
	7/18	歴史 高良倉吉講師 泊港、那覇校見学ツアー実施
	7/15	観光 下地芳郎講師 国際通り周辺探索「まちまーい」実施
	7/18	山口、北川講師 プロジェクションマッピングパフォーマンス

## 8月 夏休み

- ・校外実習 エキストラ及びメイキング用カメラ 「TUNAガール」近大マグロの養殖  
8月16日～19日 和歌山県串本町大島 近畿大学飼育実験棟 3名 (未解禁)
- ・校外実習 現場見学8名 毎日放送「十人十色」MA作業見学・KawaiianTV「ロケ方NMB」  
8月28日～29日 MBS社屋及びYBE社内見学 1名
- ・イベントスタッフボランティア参加呼びかけ  
8月26日～27日 沖縄市民小劇場あしびなー 貧困・不登校児童支援チャリティ劇 Creep

## 9月

夏休みが明けて1年次前期(9月までの期間)が終了しました。生徒面談を強化し、生徒の今を把握することに努めています。夏休み前は凝集性が高かったが夏休み後はやや希薄な感じで、人間関係にも色々変化が生じており、イニシアチブを執る生徒が変化しつつありました。各コースごとに課題やコンテスト、オーディションといったものが順次スケジュールを左右するようになっていき、生徒発信型でみんなで何かをするということが消極的になっていました。

ラジオ配信やyoutubeには積極的に取り組んでいるのでコースにとらわれず推奨しています。県内外で実施される各種イベントには、パフォーマーやスタッフとして参加の機会があり、できるだけ多く経験を積ませるよう今後も積極的に参加させていきます。



◆各コースの主たる授業内容

パフォーマンスコース

HBDA バレエ講師「山本しほ」先生によるヒントンのメソッドの授業実施  
ヴォイストレーニング エステルヴォイストレーニング (ETV) メソッド講義実施  
声優 矢島講師による講義の実施 音響監督 古屋智子講師による講義

プロダクションコース

ブレインストーミング講義の実施、発想法講義 (東野講師)  
照明の講義 (眞島講師) 音響講義 (直田講師) テレビ概論 (西本講師)

マンガコース

マンガ作画における構成・演出の基本技術、キャラクターの6つの表情、模写  
マンガ発想法：アイデアからエピソードを作り、プロットへ  
サイレントマンガオーディションへ向けてのアイデアだしネーム

CGアニメコース

ステージに出演する生徒のアバターの制作  
モーションキャプチャーによるダンスの取り込み  
制作したアバターとキャプチャーした動きの移植、及び実際のステージの動作との同期

◆やんばる「安波ダム イベント」ヤンバルクイナ祭り 生徒20名が参加

「第12回安波ダム・クイナまつりにおける沖縄ラフ&ピース専門学校課外授業」  
現地各イベント参加と情報発信、各イベントの取材を敢行し発信する

◆コアミックス主催「くまもと国際マンガCAMP」 生徒4名が参加

◆講座「沖縄の芸能文化で生きていくには」実施

株式会社シュガートレイン代表取締役井手裕一氏を招聘

10月

後期が始まるタイミングと各種オーディションや県外でのイベント出展(京都国際映画祭・崙山ラフ&ピースファクトリー)が短期間に連続して実施されることが重なり、今まで希薄な授業参加態度であった数名の者たちもやや積極的な参加態度を示すように変化しつつありました。

CGコースがアバターを作成して、モーションキャプチャーで各人のダンスの動きを取り込んで実際のダンスパフォーマンスと同期させる試みは全コースが協力し合い、互いの役割分担を認め合う良い機会となりました。

◆各コースの主たる授業内容

パフォーマンスコース

HBDA バレエ講師「山本しほ」先生によるヒントンのメソッドの授業実施

エステルヴォイストレーニング (ETV) メソッド講義実施 (稲講師)  
声優 矢島講師による講義の実施 音響監督 古屋智子講師による講義  
HIPHOP (柿崎講師) ・バレエ (長崎講師) ・Vocal・TAP (新垣講師)  
ロックンダンス (和佐田講師) 演技授業 (伊藤講師)

#### プロダクションコース

舞台制作 (中村講師) 、音響講義 (菊池講師) 、発想法の講義 (東野講師)  
照明の講義 (眞島講師) 、テレビ概論 (西本講師) 、映像制作 (アートプロ)

#### マンガコース

ゼノン・マンガオーディション：テーマ「笑顔がこぼれた瞬間」を富沢先生が担当  
テーマ「悔しくて体が震えた瞬間」を次原先生が担当、ショート2作品の完成を目指す

#### CG・アニメコース

安富先生 (アニメーション)：動画を使い3Dキャラクターに同じ動きをつける  
増田先生 (ストーリーと映像演出)：自分のテーマで作成した課題を元にプロット作成

#### ◆京都国際映画祭 歌・ダンス・CGアニメアバターによるダンスショー

■日程 10月14日 12:00

■会場 イオンモール京都五条

#### ◆崙山『Laugh&Peace ENTERTAINMENTSCHOOL presents Connect-Asia next』

沖縄と台湾の教育交流、学生によるパフォーマンスや展示支援を目的としたイベントを実施

■日程 2018年10月26日～28日 3日間開催

※入場者数 3日間合計 4,512名、説明会参加者 42名

■会場 台北市崙山1914内 崙山LAUGH&PEACE FACTORY内

台湾学生への提供ブース：日本文化に興味のある、または、日本芸能界に興味がある台湾在住の学生限定で、アニメ、マンガ、アート、写真、手作り商材、研究発表などの展示またはパフォーマンス

## 11月

各種オーディションや県外でのイベント出展 (京都国際映画祭・崙山ラフ&ピースファクトリー) が短期間に連続して実施され、一時期コースを超えての凝集性が高まりました。さらにソウル公演芸術高等学校との交流イベントやハロウィンイベントを通じて現時点でのそれぞれのマウント感を持ち始めました。

オーディションやコンテストに応募することを前提に、あるいは違った組織で経験を積むインターンシップを視野に入れるなどあるべき方向性によりシフトしつつあるものが増加してきました。その反面逆に燃え尽きた感じで活動自体が希薄になり授業を欠席しがちな学生が現れていますが、休みの日などに学校を居場所として他の生徒と交流を持つなどする学生も増えてきました。



◆〈イベントソウル公演芸術高等学校 with 沖縄ラフ&ピース専門学校 ダンスパフォーマンス SHOW〉

ソウル公演芸術高校の沖縄公演に先立ち 11月9日(金)に出演者が来校

本校にてレコーディング体験、互校がダンスパフォーマンスを披露し合う教育交流会を実施

※ダンスパフォーマンス交流会には那覇商業高校の生徒23名が見学

■日程：11月10日(土) 昼の部 15:00～ 夜の部 18:00～

■会場：那覇市ぶんかテンプス館

■入場料：一般：1,000円 高校生以下：500円 (小学生以下無料)

■実施内容：オープニングアクトとしてステージ参加 ※2ステージ

イベント期間中、ロビーにて学校プロモーションを実施 ・モーションキャプチャーデモ ・体験入学会 ・ライン@の告知

## 12月

・生徒個人カルテシステム、成績管理データベースのスケジュールの概要の理解のための打合せ

・沖縄国際映画祭 JIMOTO CM に全員がエントリー ※2019年1月7日(月)提出

・全生徒出席率カウントすり合わせ作業と打合せ、補講やカリキュラムの調整作業

・マシオカ講師特別講義

12月18日 東京本部とネットワークで接続・全コース生徒が参加 質疑応答形式で進行

・パフォーマーコース短編演劇 12月22日(土) 19:15～

@沖縄花月 短編演劇集「ピープル」上演

・沖縄ラフ&ピース専門学校と連携したいと琉大側から、ラフピース用にアレンジした、アントレプレナーカリキュラムを提供

\*当該カリキュラムは琉大で過去数年間実施済 別名、セルフプロデュース講座

## 1月

・年末年始 あそぶガッコ食堂 開催 お餅等を振る舞いました。

・パフォーマーコース タイトル あそぶガッコ de LIVE を観よう

■日時 1月26日(土) 16:00-18:00 (オープンキャンパス終了後)

■場所 沖縄ラフ&ピース専門学校 1階 あそぶガッコ。食堂

■出演者 沖縄ラフ&ピース専門学校 パフォーマーコース学生

ヴォーカル講師 稲幸恵

■来場者 一般のお客様、入場無料

■内容 稲先生のヴォーカル授業の課題曲の発表会で、テストを兼ねています。

以前行っていたラフピースフェスやプレミアムフライデーのように一般開放し、

近所の方やご家族に観覧いただきました。いろんな方に見てもらえるように

インターネット配信（YOUTUBE リアルタイム配信）も行いました。

- ・日本漫画協会 沖縄ブロック 特別講演 参加者：11名（一般参加者含）  
沖縄キリスト教学院大学 名誉教授 大城宜武 ※（おおしろ よしたけ）先生によるスライドショー形式の「沖縄マンガの移り変わり」の講演を実施  
沖縄マンガの黎明期から今日までの沖縄のマンガ史、沖縄出身漫画家を紹介すると共に日本マンガのアカデミックな進化の試論を、ユーモアを交え和やかに解りやすく解説
- ・一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協会  
沖縄支部勉強会イベント 本校視察を実施

## 2月

レギュラーシーズンが終了し、テストの実施や課題制作等を行いました。

- ◆よしもと芸人×JICA 沖縄 SDG s + JICA 海外協力隊コラボ企画 クイズとパネルトーク  
テーマ：「最近よく耳にする SDG s て何？」「JICA 海外協力隊て何？」  
「私たちにできること何だろう？」

■日 時 2月3日 11：30～13：00

■場 所 沖縄ラフ&ピース専門学校 3階

- ◆アートバトルイベント LIMITS 実施

2月14日～15日 LIMITS 体験会 2月16日～17日 沖縄大会

最終選抜された4名にて決勝トーナメントを行い、初代沖縄チャンピオンを1名決定。その他推薦枠として1名を全参加者の中から選定されました。【ともに琉球大生】

上記の2名は、4月12～14日に大阪で開催される LIMITS JAPAN CHAMPIONSHIP の最終予選（3月下旬開催）に、沖縄代表として参加しました。

本校以外にも各専門学校に参加を要請し、イベントに参加した生徒からは今後の継続的な開催を望む声が上がりました。

- ◆琉球大学「吉本興業×SDG s 2030年を笑顔であふれる世界に！」

日時：2月6日（水）14：00～17：00

場所：国立琉球大学 地域国際学習センター

- ◆パフォーマーコース 国際通り路上ライブ 2月24日実施

映画祭50日前イベント 2月27日実施

- ◆YouTuber カジサック来校 動画を撮影、配信し本校をアピール

2月21日にカジサック公式チャンネルにて公開済

<https://www.youtube.com/watch?v=wvpZag18xow&feature=youtu.be>

## 3月 春休み



・ラフピーツアーin八重瀬町公民館祭り 3月2日(土) 八重瀬町中央公民館

昨年に続き2度目の開催となり、その内リピーター参加者が5名いました。

多い方では3度目のリピーターもおり、またお笑コースの参加者は2名とも、昨年に続いてお笑コースのリピーターであったりと、継続的实施による認知拡大と、将来的な人材育成に繋がりをを感じるものとなりました。

また、新喜劇公演では初参加の芸人が多い中、かつ沖縄での新作台本での実施となりましたが、ワークショップ運営もスムーズかつ本番でのウケもあり、今後のラフピーツアーを担うメンター芸人の育成も合わせて行っています。

◆沖縄ラフ&ピース専門学校 プロダクションコース1期生 Presents 「朗読発表会」

【日時】3月23日(土) 【場所】沖縄ラフ&ピース専門学校 4F 教室

【出演】プロダクションコース1期生

【内容】1年次の進級制作として行う「朗読発表会」

プロデュース：前田先生(キョードーファクトリー)

舞 台：中村先生(有限会社ライトワーク)

音 響：菊地先生(株式会社東京音研)

照 明：眞島先生(株式会社東京舞台照明)

今後について

沖縄ラフ&ピース専門学校 2019年度コース増設について

これまでの4つのコース名(マンガ・アニメCG・プロダクション・パフォーマー)からは、オールマイティかつストイックなコース設定のイメージが強く、入学検討時にそれぞれの学生がやりたいことが見つけづらい印象でした。

また総合的かつ幅広く学べるコースメリットがあった半面、入学後に専門性を求める学生の声が多く、それに応じて受けたくない(将来像や就職希望職種とのギャップがある)授業や科目が必修科目となっている事案がでてきました。

その改善点として、専門的に学べる学科を増やしそれらを必修科目とし、その他は様々なジャンルやコースから選択受講できる余地を作り、学生の満足度を高めることにしました。また進路と直結する具体的な職業名を冠したコース名も増やすことにしました。

■クリエイティブ学科

マンガコース、ゲームグラフィックスコース(新設)、アニメーション3DCGコース(コース名修正)、企画・演出・シナリオコース(新設)

■パフォーマンスアート学科

ライブ・イベント制作コース、音響テクノロジーコース、映像コース、デジタルメディアコース、スーパーマネージメントコース、声優・俳優コース、ヴォーカリストコース

ダンサー・パフォーマーコース、アイドル・タレントコース、総合エンターテイメントコース  
授業計画・生徒管理 個人目標確認や、希望進路調整のための面談強化

★全コース担任・職員による生徒プロフィール等共有会議を実施

課題の進捗や今直面している生徒個々の悩みを共有することによって、今後の進路指導やコース指導に生かすとともに、つまづいている部分の除去に対する現時点での対処法を職員全員で共有し、助力になる部分を探すことを毎月実施していきます。

出席率の低下が顕著な生徒と最近授業中に体調不調を訴えることが増加した生徒を中心に実力的に差異が明確に見え始めてきて、自信を無くしている者や対人関係で紆余曲折がありそれが出席状況やモチベーションの維持に何らかの影響を及ぼしている者などの取り扱いを担当間で相談しあい、今後の処遇に生かすことができました。

■海外留学生の受け入れ態勢の確立準備

韓国の留学生及びネパールの留学生の住宅家賃保証会社の審査通過

### 3. 財務の概要

・資金収支計算書（平成30年4月2日～平成31年3月31日）

単位：千円

収入の部	
科目	金額
学生生徒納付金収入	35,350
寄付金収入	130,000
付随事業・収益事業収入	91
受取利息・配当金収入	0
雑収入	685
借入金等収入	30,000
前受金収入	55,050
その他の収入	13,186
資金収入調整勘定	△800
前年度繰越支払資金	-
<b>収入の部合計</b>	<b>263,563</b>

支出の部	
科目	金額
人件費支出	82,572
教育研究費支出	45,603
管理経費支出	117,339
借入金等利息支出	32
施設関係支出	194
設備関係支出	10,857
その他の支出	13,308
資金支出調整勘定	△55,263
翌年度繰越支払資金	48,919
<b>支出の部合計</b>	<b>263,563</b>

・事業活動収支計算書（平成30年4月2日～平成31年3月31日）

単位：千円

科目		金額	科目		金額	
教育活動収支	学生生徒等納付金	35,350	教育活動外収支	受取利息・配当金	0	
	寄付金	177,791		教育活動外収入計	0	
	付随事業収入	91		借入金等利息	32	
	雑収入	685		教育活動外支出計	32	
	教育活動収入計	213,918		教育活動外収支差額	△31	
	人件費	82,572		経常収支差額	△112,113	
	教育研究費	76,397		特別収支	その他の特別収入	701,145
	管理経費	166,490			特別収入計	701,145
	教育活動支出計	326,000			特別収支差額	701,145
	教育活動収支差額			△112,081	基本金組入前当年度収支差額	
基本金組入額合計			△703,098			
当年度収支差額			△114,065			
前年度繰越収支差額			-			
翌年度繰越収支差額			△114,065			

・貸借対照表（平成30年4月2日～平成31年3月31日）

単位：千円

資 産 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	680,154	-	680,154
流 動 資 産	49,636	-	49,636
資 産 の 部 合 計	729,790	-	729,790

負 債 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	6,270	-	6,270
流 動 負 債	134,487	-	134,487
負 債 の 部 合 計	140,758	-	140,758

純 資 産 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	703,098	-	703,098
繰 越 収 支 差 額	△114,065	-	△114,065
純 資 産 の 部 合 計	589,032	-	589,032
負債及び純資産の部 合 計	729,790	-	729,790

・財産目録（平成30年4月2日～平成31年3月31日）

単位：千円

1. 資産総額	729,790	
固定資産	680,154	建物・構築物・教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書・ソフトウェア・差入敷金
流動資産	49,636	現金預金・未収入金・前払金・仮払金
2. 負債総額	140,758	
固定負債	6,270	長期未払金
流動負債	134,487	短期借入金・未払金・前受金・預り金
3. 正味財産	589,032	

# 平成30年度 計算書類

自 平成 30年 4月 2日  
至 平成 31年 3月 31日

財 産 目 録  
資 金 収 支 計 算 書  
事 業 活 動 収 支 計 算 書  
貸 借 対 照 表

学 校 法 人 ラ フ & ピ ー ス

## 財産目録

平成31年3月31日現在

科目	年度末
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 建物	591,743,572 円
(1) 校舎	1,383.18㎡ 591,743,572
2 図書	2,643冊 407,448
3 校具・教具・備品	127点 59,108,424
4 構築物	8,125,714
5 ソフトウェア	20,659,187
基本財産合計	680,044,345
(二) 運用財産	
1 現金・預金	48,919,663
現金	463,809
普通預金	48,455,854
2 未収入金	260,000
3 前払金	110,000
4 仮払金	346,790
5 差入保証金	110,000
運用財産合計	49,746,453
資産総額	729,790,798
二 負債額	
1 固定負債	
(1) 長期未払金	6,270,264
固定負債合計	6,270,264
2 流動負債	
(1) 短期借入金	30,000,000
(2) 未払金	48,992,802
(3) 前受金	55,050,000
(4) 預り金	444,988
流動負債合計	134,487,790
負債総額	140,758,054
正味財産 (資産総額－負債総額)	589,032,744



## 資金収支計算書

平成30年4月2日から

平成31年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	( 38,250,000 )	( 35,350,000 )	( 2,900,000 )
授業料収入	22,650,000	21,100,000	1,550,000
入学金収入	3,900,000	3,700,000	200,000
実験実習料収入	7,761,000	6,998,167	762,833
施設設備資金収入	3,939,000	3,551,833	387,167
寄付金収入	( 130,000,000 )	( 130,000,000 )	( 0 )
一般寄付金収入	130,000,000	130,000,000	0
補助金収入	( 10,000,000 )	( 0 )	( 10,000,000 )
県補助金収入	10,000,000	0	10,000,000
付随事業・収益事業収入	( 0 )	( 91,372 )	( △ 91,372 )
補助活動収入	0	91,372	△ 91,372
受取利息・配当金収入	( 0 )	( 671 )	( △ 671 )
その他の受取利息・配当金収入	0	671	△ 671
雑収入	( 0 )	( 685,709 )	( △ 685,709 )
施設設備利用料収入	0	638,709	△ 638,709
その他の雑収入	0	47,000	△ 47,000
借入金等収入	( 0 )	( 30,000,000 )	( △ 30,000,000 )
短期借入金収入	0	30,000,000	△ 30,000,000
前受金収入	( 89,750,000 )	( 55,050,000 )	( 34,700,000 )
授業料前受金収入	55,250,000	33,950,000	21,300,000
入学金前受金収入	6,000,000	5,400,000	600,000
実験実習料前受金収入	18,905,000	10,650,000	8,255,000
施設設備資金前受金収入	9,595,000	5,050,000	4,545,000
その他の収入	( 0 )	( 13,186,209 )	( △ 13,186,209 )
預り金受入収入	0	9,406,448	△ 9,406,448
仮払金回収収入	0	3,779,761	△ 3,779,761
資金収入調整勘定	( 0 )	( △ 800,000 )	( 800,000 )
期末未収入金	0	△ 800,000	800,000
収入の部合計	268,000,000	263,563,961	4,436,039
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	( 75,043,419 )	( 82,572,560 )	( △ 7,529,141 )
教員人件費支出	56,998,427	63,399,821	△ 6,401,394
職員人件費支出	18,044,992	13,062,995	4,981,997
所定福利費支出	0	6,109,744	△ 6,109,744
教育研究費支出	( 32,923,000 )	( 45,603,552 )	( △ 12,680,552 )
消耗品費支出(教育)	180,000	2,369,995	△ 2,189,995
光熱水費支出(教育)	2,608,000	3,447,702	△ 839,702
旅費交通費(教育)	14,490,000	25,044,731	△ 10,554,731
奨学費支出(教育)	0	1,050,000	△ 1,050,000
通信費支出(教育)	0	30,105	△ 30,105
新聞雑誌費支出(教育)	0	327,258	△ 327,258
印刷製本費支出(教育)	0	15,768	△ 15,768
修繕費支出(教育)	0	10,366	△ 10,366
支払報酬支出(教育)	2,445,000	2,157,037	287,963
課外活動費支出(教育)	6,000,000	9,387,590	△ 3,387,590
会議費(教育)	7,200,000	1,129,295	6,070,705
雑費(教育)	0	633,705	△ 633,705

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
管理経費支出	( 48,321,050 )	( 117,339,748 )	( △ 69,018,698 )
消耗品費支出 (管理)	180,000	2,531,845	△ 2,351,845
光熱水費支出 (管理)	392,000	520,401	△ 128,401
旅費交通費支出 (管理)	0	12,311,715	△ 12,311,715
車輻燃料費支出 (管理)	0	50,772	△ 50,772
通信費支出 (管理)	1,090,428	5,927,883	△ 4,837,455
新聞雑誌費支出 (管理)	120,000	275,138	△ 155,138
印刷製本費支出 (管理)	480,000	1,077,410	△ 597,410
福利費支出 (管理)	0	4,154,638	△ 4,154,638
損害保険料支出 (管理)	2,677,108	2,650,014	27,094
賃貸料支出 (管理)	2,036,000	2,620,110	△ 584,110
支払報酬支出 (管理)	3,800,000	2,987,714	812,286
業務委託費支出 (管理)	7,990,560	12,497,729	△ 4,507,169
公租公課支出 (管理)	0	29,800	△ 29,800
広報費支出 (管理)	29,194,954	61,399,084	△ 32,204,130
渉外費支出 (管理)	0	1,394,072	△ 1,394,072
会議費支出 (管理)	0	1,312,112	△ 1,312,112
雑費支出 (管理)	360,000	5,599,311	△ 5,239,311
借入金等利息支出	( 0 )	( 32,054 )	( △ 32,054 )
短期借入金利息支出	0	32,054	△ 32,054
施設関係支出	( 0 )	( 194,400 )	( △ 194,400 )
建物支出	0	194,400	△ 194,400
設備関係支出	( 0 )	( 10,857,039 )	( △ 10,857,039 )
教育研究用機器備品支出	0	8,241,325	△ 8,241,325
管理用機器備品	0	137,643	△ 137,643
図書支出	0	75,071	△ 75,071
ソフトウェア支出	0	2,403,000	△ 2,403,000
その他の支出	( 0 )	( 13,308,011 )	( △ 13,308,011 )
預り金支払支出	0	8,961,460	△ 8,961,460
前払金支払支出	0	110,000	△ 110,000
仮払金回収支出	0	4,126,551	△ 4,126,551
差入敷金支払支出	0	110,000	△ 110,000
〔予備費〕	0		0
資金支出調整勘定	( 0 )	( △ 55,263,066 )	( 55,263,066 )
期末未払金	0	△ 55,263,066	55,263,066
翌年度繰越支払資金	111,712,531	48,919,663	62,792,868
支出の部合計	268,000,000	263,563,961	4,436,039

事業活動収支計算書

平成30年4月2日から

平成31年3月31日まで

(単位：円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動収支の部	科 目			
	学生生徒等納付金	( 38,250,000 )	( 35,350,000 )	( 2,900,000 )
	授業料	22,650,000	21,100,000	1,550,000
	入学金	3,900,000	3,700,000	200,000
	実験実習料	7,761,000	6,998,167	762,833
	施設設備資金	3,939,000	3,551,833	387,167
	寄付金	( 130,000,000 )	( 177,791,274 )	( △ 47,791,274 )
	一般寄付金	130,000,000	130,000,000	0
	現物寄付	0	47,791,274	△ 47,791,274
	経常費等補助金	( 10,000,000 )	( 0 )	( 10,000,000 )
	県補助金収入	10,000,000	0	10,000,000
	付随事業収入	( 0 )	( 91,372 )	( △ 91,372 )
	補助活動収入	0	91,372	△ 91,372
	雑収入	( 0 )	( 685,709 )	( △ 685,709 )
	施設設備利用料	0	638,709	△ 638,709
	その他の雑収入	0	47,000	△ 47,000
教育活動収入計 (1)	178,250,000	213,918,355	△ 35,668,355	
教育活動収支	科 目			
	人件費	( 75,043,419 )	( 82,572,560 )	( △ 7,529,141 )
	教員人件費	56,998,427	63,399,821	△ 6,401,394
	職員人件費	18,044,992	13,062,995	4,981,997
	所定福利費	0	6,109,744	△ 6,109,744
	教育研究経費	( 58,598,161 )	( 76,397,326 )	( △ 17,799,165 )
	消耗品費 (教育)	180,000	4,300,791	△ 4,120,791
	光熱水費 (教育)	2,608,000	3,447,702	△ 839,702
	旅費交通費 (教育)	14,490,000	25,044,731	△ 10,554,731
	奨学費 (教育)	0	1,050,000	△ 1,050,000
	減価償却額 (教育)	25,675,161	28,733,978	△ 3,058,817
	通信費 (教育)	0	30,105	△ 30,105
	新聞雑誌費 (教育)	0	327,258	△ 327,258
	印刷製本費 (教育)	0	15,768	△ 15,768
	修繕費 (教育)	0	10,366	△ 10,366
	支払報酬 (教育)	2,445,000	2,286,037	158,963
	課外活動費 (教育)	6,000,000	9,387,590	△ 3,387,590
	会議費 (教育)	7,200,000	1,129,295	6,070,705
	雑費 (教育)	0	633,705	△ 633,705
	管理経費	( 50,732,058 )	( 166,490,268 )	( △ 115,758,210 )
	消耗品費 (管理)	180,000	6,353,641	△ 6,173,641
	光熱水費 (管理)	392,000	683,635	△ 291,635
旅費交通費	0	12,834,264	△ 12,834,264	
減価償却額 (管理)	2,411,008	3,419,042	△ 1,008,034	
車輛燃料費 (管理)	0	50,772	△ 50,772	

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動支出	事業活動支出の部	通信費 (管理)	1,090,428	5,945,665	△ 4,855,237
		新聞雑誌費 (管理)	120,000	275,138	△ 155,138
		印刷製本費 (管理)	480,000	1,077,410	△ 597,410
		福利費 (管理)	0	4,154,638	△ 4,154,638
		損害保険料 (管理)	2,677,108	2,650,014	27,094
		賃貸料 (管理)	2,036,000	4,357,178	△ 2,321,178
		支払報酬 (管理)	3,800,000	2,987,714	812,286
		業務委託費 (管理)	7,990,560	21,628,049	△ 13,637,489
		公租公課 (管理)	0	29,800	△ 29,800
		広報費 (管理)	29,194,954	90,944,094	△ 61,749,140
		渉外費 (管理)	0	1,394,072	△ 1,394,072
		会議費 (管理)	0	1,353,225	△ 1,353,225
		雑費 (管理)	360,000	6,351,917	△ 5,991,917
		徴収不能額等	( 0 )	( 540,000 )	( △ 540,000 )
		徴収不能額	0	540,000	△ 540,000
		教育活動支出計 (2)	184,373,638	326,000,154	△ 141,626,516
		教育活動収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 6,123,638	△ 112,081,799
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	( 0 )	( 671 )	( △ 671 )
		普通預金利息	0	671	△ 671
	教育活動外収入計 (4)		0	671	△ 671
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	( 0 )	( 32,054 )	( △ 32,054 )
		短期借入金利息	0	32,054	△ 32,054
教育活動外支出計 (5)		0	32,054	△ 32,054	
教育活動外収支差額 (6)=(4)-(5)		0	△ 31,383	31,383	
経常収支差額 (7)=(3)+(6)		△ 6,123,638	△ 112,113,182	105,989,544	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		その他の特別収入	( 758,971,690 )	( 701,145,926 )	( 57,825,764 )
		現物寄付	758,971,690	701,145,926	57,825,764
	特別収入計 (8)		758,971,690	701,145,926	57,825,764
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
特別支出計 (9)		0	0	0	
特別収支差額 (10)=(8)-(9)		758,971,690	701,145,926	57,825,764	
予備費 (11)		( 0 )		0	
基本金組入前当年度収支差額 (12)=(7)+(10)-(11)		752,848,052	589,032,744	163,815,308	
基本金組入額合計 (13)		△ 758,971,690	△ 703,098,085	△ 55,873,605	
当年度収支差額 (14)=(12)+(13)		△ 6,123,638	△ 114,065,341	107,941,703	
前年度繰越収支差額 (15)		0	0	0	
基本金取崩額 (16)		0	0	0	
翌年度繰越収支差額 (17)=(14)+(15)+(16)		△ 6,123,638	△ 114,065,341	107,941,703	
(参考)					
事業活動収入計 (18)=(1)+(4)+(8)		937,221,690	915,064,952	22,156,738	
事業活動支出計 (19)=(2)+(5)+(9)+(11)		184,373,638	326,032,208	△ 141,658,570	

貸借対照表  
平成31年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	680,154,345	0	680,154,345
有形固定資産	659,385,158	0	659,385,158
建物	591,743,572	0	591,743,572
構築物	8,125,714	0	8,125,714
教育研究用機器備品	53,484,785	0	53,484,785
管理用機器備品	5,623,639	0	5,623,639
図書	407,448	0	407,448
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	20,769,187	0	20,769,187
ソフトウェア	20,659,187	0	20,659,187
差入保証金	110,000	0	110,000
流動資産	49,636,453	0	49,636,453
現金預金	48,919,663	0	48,919,663
未収入金	260,000	0	260,000
前払金	110,000	0	110,000
仮払金	346,790	0	346,790
資産の部合計	729,790,798	0	729,790,798

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	6,270,264	0	6,270,264
長期未払金	6,270,264	0	6,270,264
流動負債	134,487,790	0	134,487,790
短期借入金	30,000,000	0	30,000,000
未払金	48,992,802	0	48,992,802
前受金	55,050,000	0	55,050,000
預り金	444,988	0	444,988
負債の部合計	140,758,054	0	140,758,054

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	703,098,085	0	703,098,085
第1号基本金	703,098,085	0	703,098,085
繰越収支差額	△ 114,065,341	0	△ 114,065,341
翌年度繰越収支差額	△ 114,065,341	0	△ 114,065,341
純資産の部合計	589,032,744	0	589,032,744
負債及び純資産の部合計	729,790,798	0	729,790,798

監事監査報告書

令和元年5月23日

学校法人ラフ&ピース  
理事長 水谷 暢宏 殿

学校法人ラフ&ピース

監事

原 田 裕 

監事

溝 上 篤 史 

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項の規定に基づき、平成 30 年度（平成 30 年 4 月 2 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）における学校法人ラフ&ピースの業務及び財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められませんでした。また、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は学校法人の財政状態及び経営状況を、事業報告は学校法人の状況を、法令若しくは寄附行為に従い正しく示していることを認めます。

以上